

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

平成 17 年度事業報告



平成 18 年 5 月

はじめに

平成17年度のしみん基金・こうべは、昨年に引き続き助成事業を行うための財源づくりに力を注ぎました。本来の使命である助成事業は行いませんでしたが、5年目となる委託事業、ひょうごぼらんていああしすと事業も継続して、はーとふるふぁんど委員会より受託し、平成17年1月から事業を開始致しております。また、他の団体と共に協働して活動し、4年目を迎えた「ぼたんの会」にも積極的に参画し、新しいファンドレージングの在り方を模索、実践しています。震災から10年が経過し、市民活動の在り方や財源確保の手段も転換期を迎えております。震災直後から比べると市民活動が活動する領域は大きく広がり、分野も増えております。しかしながら、年月の経過とともに、市民活動を支える手は次第に少なくなろうとしています。今後の社会において大きな役割を果たすであろう市民活動の芽を大きく育てていくことが当基金の使命であることを肝に命じ、更なる努力を重ねて参る所存でございます。皆様方からの更なるご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ
理事長 黒田 裕子

1 兵遊協・はぁ～とふるふぁんど（当基金受託事業）

ひょうごボランティアあしすと事業

21世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はぁ～とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、年3回に分けて、県内の福祉事業、ユネスコ活動事業、地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。今回は「ひょうごボランティアあしすと」として、地域ボランティア活動を対象に支援します。（はぁ～とふるふぁんど申請書より抜粋）

【助成対象】

兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている5名以上で構成される団体。

【助成額】

全体の活動費の4分の3相当で、最高100万円。

【受付期間】

平成18年1月6日～2月28日

【申請団体数】

申請団体数 189団体（内32団体に助成）

まとめ

本年度で第6回目となる事業ですが、引き続き、兵庫県遊技業協同組合・ラジオ関西・神戸新聞事業社で構成されるはぁ～とふるふぁんど委員会より委託を受けました。事業内容は従前通りですが、震災より10年を経過し、公的な助成が打ち切られたことにより申請団体数が2割以上増加しました。事務作業は繁忙を極めましたが、大きな問題もなく、事業を終えることが出来ました。また、昨年同様多くの団体より、お褒めの言葉を頂いたことは、事務委託を受けた当基金としてこれまでの実績を評価されたことに等しく、嬉しい限りでした。また、様々な団体の方々と触れ合いを持つ中で、しみん基金KOBÉの活動に理解を示して頂いたことは大きな意味があったと思われます。

2 寄付金

オレンジスリフティ
神戸リサイクルセンター
中島秀男
被災地 NGO 協働センター
ぼたんの会実行委員会
バンブーCOOP
阪神高齢者障害者支援ネットワーク
ニューウエイズジャパン
白水土郎
摩耶はるこ
神戸復興塾
兵庫県遊技業協同組合
アトリエ Maya

(他に匿名希望の方1名より寄付がございました。)

総額 ¥ 3,990,514

3 募金

阪神高齢者障害者支援ネットワーク募金箱
KCCライフプランセミナー
永六輔

総額 ¥ 71,460